

薬剤部だより

2021.11.17

お薬には色々な剤形があることを知っていますか？

服薬を継続するためには、ご自身が続けやすい剤形を選ぶことも大切です。

今回は、当院で扱っているお薬の剤形についてご紹介します。

● 飲み薬

一番なじみのある剤形なので、飲まれている方も多いです。

錠剤、粉薬、内用液、口腔内崩壊錠（OD錠）などがあります。

内用液や口腔内崩壊錠（OD錠）は、水なしで飲むことができます。

口腔内崩壊錠とは？

口の中に入れるとさっと溶けてしまうお薬のことです。

当院のお薬では、名前の末尾にDやODとついているものがこれにあたります。

● 舌下錠

舌の下で溶かすお薬です。

消化管を通らず吸収されるため、体内でのお薬の濃度が安定すると言われています。

飲み込んでしまうと効果がなくなってしまいます。

● 注射剤

持続性注射剤（LAI）と呼ばれます。

効果が4～12週間持続するため、飲み薬が減ったりなくなったりすることもあります。

体内でのお薬の濃度が長時間安定するため、症状が安定しやすいと言われていますが、効果を発揮するまで時間がかかるので、最初は飲み薬との併用が必要です。

副作用が出ると長く症状が続いてしまうデメリットがあります。

● 貼り薬

1日1回貼るだけで効果が持続します。

皮膚から吸収されるため、体内でのお薬の濃度が安定すると言われています。

目で確認できるため、貼り忘れに気づきやすいというメリットがあります。

薬のことを気にせず
仕事がしたいので
注射を考えてみようかな

外出先でもすぐ飲めるように
OD錠や内用液を試してみたいわ

お薬は継続することが大切です。
主治医に相談しながら
あなたに合うお薬を
一緒に考えていきましょう

